

令和5年度大学院入学試験事前課題 (前期募集)

教育実践高度化専攻

教科教育・教科複合実践研究コース

(芸術創造領域 音楽分野)

注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した1科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 解答用紙のみ返送すること。なお、問題用紙は回収しない。

問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

◎ 音楽教育学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編』によると、「今回の改訂では、歌唱、器楽及び鑑賞に関わる知識として、『曲想』と『音楽の構造』などとの関わりについての理解を位置付けている。」*と解説している。

このような理解はどのような学習によって意味のあるものとなるか。具体的な指導事例とともにあなたの考えを述べなさい。なお、校種は小学校に限定しなくてもよい。

*文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編』東洋館出版社，p.27

◎ 声楽

校内合唱コンクールを運営するにあたって留意すべきポイントについて、選曲、各クラス内の役割の内容や分担の方法、練習スケジュール、当日の運営とポイントを挙げその留意点と理由を述べなさい。

◎ 器楽

器楽表現を創意工夫する能力を高めるにはどのような指導が必要か、あなたの経験を踏まえて述べなさい。想定する指導場面は、音楽科の授業に限らず自由とする。

◎ 作曲

「思いや意図をもって作曲する」とは、どのような状態をいうと考えられるか、音楽そのものとの関わりがわかるように述べなさい。この質問は、小学校や中学校での創作の授業を念頭においてはいるが、あなた自身の経験に関わらせて考えてもよい。

◎ 音楽学

『中学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」「第5節 音楽」「第3指導計画の作成と内容の取扱い」では、「我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導」の際に「姿勢や身体の使い方についても配慮する（…）こと」と示されている（2(6)）。「姿勢や身体の使い方」に配慮するとは具体的にはどのようなことか、また、「姿勢や身体の使い方」に配慮した「我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導」とは、どのようなものが考えられるか。具体例を挙げ、あなたの考えを述べなさい。なお、校種は中学校に限定しなくてもよい。